

## デュアル クラッチ トランスミッションの走行モード操作 *Dual Clutch Transmission*

モーターサイクル用のデュアル クラッチ トランスミッションの操作は、ハンドルに設置したスイッチ類で行います。走行モードは2種類あり、走行状況に応じて的確なシフトアップ/ダウンを自動的に行う「ATモード」、そしてギアの選択がシフトスイッチで任意にできる「MTモード」を、モードスイッチにより選択できます(いずれのモードも、発進はオートマチック)。

さらに「ATモード」では、「Dモード」と「Sモード」の2つのシフトスケジュールマップが選択でき、搭載機種のコセプトに合わせたマップ設定とすることができます。例えば「Dモード」のマップは燃費重視の走行から、よりペースを上げたスポーツ走行までをカバーできるような設定、さらに「Sモード」のマップはより高回転をキープするスポーツ走行に特化したシフトスケジュールとするような設定が可能です。

「Dモード」と「Sモード」が選択できる「ATモード」。

トランスミッションとクラッチは、走行中プログラムされたシフトスケジュールに従い電子制御されます。またニュートラル以外なら何速に入っても、D(S)スイッチを操作することで、「Dモード」または「Sモード」を自在に選択することが可能です。

スイッチ操作だけで変速できる「MTモード」。

シフトアップはシフトアップスイッチを、また、シフトダウンはシフトダウンスイッチをそれぞれ操作します(一度操作するたびに1速ずつ変速)。「ATモード」の際にこの操作を行うと、変速するとともに自動的に「MTモード」となります(モードスイッチの操作でATモードに復帰)。また停車すると自動的に1速となります。

